

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

| | |
|--------------------------------------|---|
| 事業所名 | グループホーム うぐいす |
| 日付 | 平成18年2月6日 |
| | 特定非営利活動法人 |
| 評価機関名 | ライフサポート |
| 評価調査員 | 老人保健施設相談員、介護支援専門員経験6年、厚生労働省認知症介護指導者経験1年 |
| 評価調査員 | 老人保健施設介護経験5年、居宅支援事業所介護支援専門員経験5年 |
| 自主評価結果を見る | |
| 評価項目の内容を見る | |
| 事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります!) | |

外部評価の結果

| |
|---|
| 講評 |
| 全体を通して(特に良いと思われる点など) 訪問すると度テレビ体操の時間。利用者は「立って体操する人」「椅子に座ったまま手足を動かす人」等それぞれのスタイルで、身体を動かしている。そんな一つ一つが利用者の日常生活の一端である。その後は、「食事を作る人」「百人一首をする人」「散歩に行く人」など自由に時間を使っている。自分で出来ることをゆくりと探し出す手助けをしたり、寄り添って自分の持てる力をうまく引き出す支援しているのが嬉しい。それは利用者の表情から十二分に伝わってくる。 また普通の生活が感じられる点は、近所のお店に行って買物をし、冷蔵庫の中にある物とで見繕って献立を考え、利用者と一緒に献立を作る。負担になる事は強制しないが、ちょっとした支援でやる気を出し、良い顔をしている点、また散歩に出かけて花を摘んできて季節を感じ楽しませている点などが普通の生活だろうと思うところです。伸び伸びとして、穏やかにしている姿がうれしい。 |
| 特に改善の余地があると思われる点 次のような提案をした 認知症に関する色々な専門的情報を、地域の人々に伝える発信元になって、正しい知識や対応の仕方等を伝えて欲しい。 広いスペースを有効に活用して、地域の人々に受け入れ、ともに楽しむ意欲が出るような活動の場を提供してもらいたい。 |

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | | |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か 「可能な限り自立を目指し、今日も気分良く皆で生活できるよう支援する」ということが浸透していて、日常生活が当然の様に行われている。食事の支度は冷蔵庫にある食材を見て献立を考え、不足なものがあれば、近所のお店に行って買い足す。そんな生活の中で、自分の役割を持って、ホームの生活の中で役立っている自分に自信が湧いてくる様子が良く分かる。これは利用者の笑顔から汲み取ることが出来た。 このような普段着のままの生活から「利用者の笑顔と今日も楽しかったと思う気持ち」を持ってもらえるような支援を職員全員で目指している。 | | |

生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間作り | | |
| 3 | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり | | |
| 4 | 建物の外回りや空間の活用 | | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | | |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 利用者の殆んどは居間のソファに腰をかけて、百人一首をしたり、食堂のテーブルで積み木をしたり、食事の手伝いをして、リビングルームで過ごしている。それぞれが一人で、あるいは仲間と気分良く自由な時間を過ごしている。やりたいことを自由に楽しみながら行動をする支援、援助がなされている事が、利用者の落ち着いた生活に繋がっているように感じられた。 | | |

ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | | |
| 7 | 個別の記録 | | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | | |
| 9 | チームケアのための会議 | | |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | | |
| 14 | 一人で行えることへの配慮 | | |
| 15 | 入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫 | | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | | |

III ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | | |
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援 | | |
| 20 | プライドを大切にされた整容の支援 | | |
| 21 | 安眠の支援 | | |
| 22 | 金銭管理と買い物支援 | | |
| 23 | 痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 | | |
| 24 | 身体機能の維持 | | |
| 25 | トラブルへの対応 | | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | | |
| 28 | 服薬の支援 | | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | | |
| 30 | 家族の訪問支援 | | |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 常に利用者が安心して、身体的にも精神的にも負担の少ない生活が出来るよう配慮がなされ、「良い気持ちだったね」と利用者を感じられるような支援をしている職員の思いが伝わってきた。また、利用者の持てる力を発揮出来るように、買い物にもしっかり行ってもらい、お店の人との交流を図り、社会性を身に持ち続けられる配慮がなされている。お正月を前に百人一首をしていて、句をしっかりと記憶しているのに驚かされたり、編み物、料理など得意なことを良い表情でしている様子を見て、一人ひとりの個性を見出しながら支援している様子がしっかりと感じられた。 | | |

IV 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | | |
| 32 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | | |
| 33 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | | |
| 34 | 地域との連携と交流促進 | | |
| 35 | ホーム機能の地域への還元 | | |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 何か問題が発生した時には十分な対応がなされ、家族とも良い関係が保たれている。ケアの目指しているものやケアの原則をステーションに掲げ、常に職員が意識できるようにしていた。 それは利用者の表情であり、穏やかさであり、いつも負担を感ずることなく、それでいて、出来る自信が持てる支援がなされているように感じた。利用者は家と同じようにいつでも外出でき、欲しいものを買いに行ける、あるいはお手伝いの出来る嬉しさなども味わわれている様子が感じられた。 | | |